

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市いずみ中央地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

- ① H28 年 10 月にいずみ野地域ケアプラザが開所したことに伴い、当ケアプラザの担当エリアは、和泉中央地区のみとなりました。エリアには、区役所、区民活動センター、子育て拠点「すきっぷ」ケアプラザ、商業施設等の利便性が高い地区がある反面、バス路線が長後街道と国道 4 号線のみのため移動がしにくく利便性が低い地域もありますので移送についても今後課題となります。
- ② 当ケアプラザで担当している地域の高齢化率は 27 年度推計で、和泉中央地区は 25.9%と他地区同様高齢化が進んでいます。2025 年問題を控えて、高齢になっても生き活きと安心して暮らせるよう、昨年度収集した地域の各自治会館等で行っている地域活動の情報を積極的に活用していくと共に、新たな介護予防教室の開催、また、サロン参加時の脳トレや体操の実施の定例化支援、常設サロン「いこいの家」等に出向いての介護予防啓発を行い、横浜市の総合事業への取組が地域に根づいていくようにしていくことが必要です。
- ③ 地域の方からの総合相談でも、認知症にかかわる相談・トラブルが増えています。認知症になっても安心して暮らせる街づくりは緊急課題です。昨年度に引き続き、今年度も地域のシニアクラブや民生委員児童委員協議会、商店や金融機関等で、ケアプラザ機能の説明や介護保険制度の説明、認知症サポーター講座の開催と協議体等を通じ、認知症の方に対する見守りネットワークを構築していきます。
- ④ 地域防災に関しては今後も大きな課題と捉え、定期的にケアプラザ内の防災委員会を開催し、いずみ中央地域ケアプラザのBCP(事業継続計画)に沿って継続的に取り組むと共に、有事の際の障害者施設も含めた地域との連携強化を図っていく必要があります。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ① 様々な方々に気軽に相談していただけるよう、町内会の会合、事業実施の際や広報誌を活用し包括支援センターの役割を広く広報しました。相談には真摯に向き合い、迅速、丁寧に対応しました。
- ② 高齢に限らず、障がい・子育てについても、介護サービスの最新情報はもちろん、地域のインフォーマルサービスや、医療機関等の情報を収集し、支援を必要とする方に情報提供しました。
- ③ 福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）職員が不在時は、所長、ケアマネジャー等職員が相談を承り、各職種が連携を取りながら職員全体で情報提供を行いました。

(3) 各事業の連携

- ① 所長、地域活動交流コーディネーター、福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）の職員、生活支援コーディネーターは月に1回、6職種会議を開催し、地域の状況・課題の共有や支援方法の検討を行いました。また通所介護、居宅介護支援の職員とも職員会議等を通じて情報を共有し、地域の実情やニーズにあったサービス提供を行いました。
- ② 今年度も共催事業として「虹いろ Life セミナー」「発達障害とこどもたち 2017」等の講座を実施しました。広く地域に周知しケアプラザを知ってもらうことや福祉総合相談窓口が高齢者以外の相談機関であることの周知に努めました。
- ③ 地域の高齢者向けサロン等には、所長および5職種が輪番制で出席し、情報共有や情報発信を行いました。また町内会の定例会にも積極的に参加し、ケアプラザの機能の周知に努めました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ① ケアプラザを利用されるお客様に満足いただけるサービスを更に向上させるには、福祉専門職としての能力向上と、専門的資格取得が重要と考えます。29年度は、地域交流コーディネーターとケアマネジャー・予防プランナーが新採用されましたが、福祉専門職としての能力を向上させるために、OJT体制を充実させました。新人教育はもちろん、採用年次による定期的な研修やフォローアップ研修で質を高め、介護福祉士や介護支援専門員、社会福祉士等の資格取得を正規職員・非常勤職員を問わず奨励・支援していきました。さらに接遇にも力を入れ、お客様への質の高いサービス提供を行いました。
- ② 法人で独立した研修センターが設置されています。職種・年齢層・在勤年数・職制等様々な区分による研修が実施されています。積極的に研修に参加し、人材育成とスキルアップに努めました。
- ③ 福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）が受けた相談に対し、居宅介護支援事業所を紹介する際、法人独自で作成した「居宅介護支援事業所新規依頼表」（29年度内容見直し）を使い、公正・中立性を確保しました。
- ④ 予防支援・居宅介護支援でサービスを使う際は、ハートページや資料を用いて、利用する人が自己決定できるように支援しました。
- ⑤ 通所介護等はできる限り見学してから決めるよう促しました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ① 民生委員児童委員協議会、シニアクラブや町内会などの定例会に積極的に参加し、情報共有を行い、ケアプラザが中心となり、橋渡しをしながら団体同士の連携強化、ネットワークの構築に取組みました。
- ② 地域福祉保健計画を通じて、地区社会福祉協議会や連合町内会、民生委員児童委員協議会やシニアクラブ等の地域の関係団体との連携を密にし、地域課題の解決に向けて協働しました。
- ③ 発達に問題を抱える子の発育課題等解決に向け、泉区障害福祉自立支援協議会と子育て支援ネットワーク両機関とのネットワーク構築に向け、自立支援協議会ブロック会議や、子育て支援連絡会等の会議及び事業に積極的に参加しました。また、会議会場として当ケアプラザの貸室をご利用いただく等を通じ、連携の強化を図りました。
- ④ 未就学児の子育て支援から小・中学生の福祉体験学習等、子育て支援拠点「すきっぷ」他、地域の各団体や保育園、小・中学校等と連携し、切れ目のない子育て支援ができるよう、協力しました。
- ⑤ エリア内のケアマネジャーやサービス事業所連絡会を開催し、事業者間や事業所

と地域の関係団体とのつながりが強くなるよう支援致しました。

- ⑥ 常設サロン「いこいの家」の運営推進委員となり、スタッフ向け認知症の研修講師をつとめたり、意見交換等を通じて地域包括ケアシステムの構築にむけて協働しました。今年度は新たな取組として「いこいの家」が認知症カフェ「にちようカフェ」をスタートさせるにあたり、朝日新聞厚生文化事業団による助成金申請において6職種で協力して、横浜市の認知症カフェとしてはじめて助成金を得ることが出来ました。開催日は必ず職員も参加し、事務等含めて後方支援を行いました。
- ⑦ 昨年度同様、エリア内の小学校などに福祉教育の働きかけを行い、ケアプラザの機能や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組についての周知を図りました。またあらたに環境絵日記展をエリア内小学校の協力の下、実施いたしました。
- ⑧ 地域課題としてもあがった、認知症の方へのゆるやかな見守り体制の構築に向けて地域組織や民間企業、コンビニ、郵便局等と意見交換や情報共有を行いました。

(6) 区行政との協働

- ① 区社協、泉区内の地域ケアプラザが共催、区高齢・障害支援課、男性たちの活動グループ「ducks」協力のもと、「いずみオ・ト・ナ College」を実施しました。地域活動の新たな担い手の発掘に取組みました。
- ② 子育て支援ネットワーク連絡会や、コーディネーター連絡会等各種会議を通じて定期的に区の福祉保健等についての動向や地域の状況等の情報共有を行いました。
- ③ 第3期地域福祉保健計画地区別計画では地域支援チームの一員としてオリエンテーション、研修等に参加し、地区担当者間のネットワークを構築すると共に地域課題の共有に努めました。また、地区別計画推進委員会事務局へ参加し、アセスメントシートの作成や推進委員会の開催に向け資料作成等の支援を行いました。
- ④ 地域ケア会議や協議体の開催について、区高齢・障害支援課と話し合いを持ち、助言をいただきながら進めました。29年度は、ゆるやかな見守り体制の構築に向け、地域のスーパー、コンビニ、民間企業の責任者の方々にむけて、地域ケア会議や協議体への参加を働きかけ実施しました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ① 高齢者、障害児・者、子育て支援など、それぞれの地域ニーズや特性に応じ、幅広い階層の参加が得られるような自主事業の展開に努めました。なお、実施にあたってはケアプラザの貸室団体、ケアプラザで活動中のボランティアなどにご協力頂きました。
- ② 地域ニーズを反映した企画を事業化しました。今年度は新たに、異世代交流サロン「みんなの広場」を実施し、様々な世代の方が交流できるよう働きかけを行ったり、健康マージャンの初心者クラス「まほろば会」の立ち上げを行いました。また、包括支援センター、生活支援体制整備事業と共催で発達障害のお子さんとのコミュニケーションのとり方についての講演会「発達障害と子どもたち 2017」を企画し、区内の小中学校や特別支援学校に周知を行ったところ、35名の参加がありました。子育て支援ネットワークとの協働で、父親の子育てへの参加を促すための「公園あそび」も2回実施しました。
- ③ 事業開始時、参加の方々に、それぞれの事業の目的やケアプラザの役割等を明示・周知を行い、福祉保健の推進につながるような事業展開となるよう働きかけました。
- ④ シニアボランティア登録研修会を行い、地域の方のボランティア活動参加を促す

よう働きかけを行いました。自主事業内で参加者・ボランティアの方が積極的に参加できるような場作りを目指し声かけ等積極的に行いました。

- ⑤ ケアプラザの自主事業から発展した自主サークルや、新規登録団体の方が、スムーズに活動できるよう貸館の利用方法の説明等の業務を通じて、各団体に積極的に声掛けを行い、現状把握につとめ、必要であれば助言等行いました。
- ⑥ 自主事業等で捉えた地域の課題について6職種会議等で確認し福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）職員と情報を共有しました。
- ⑦ 地域内10ヶ所の高齢者サロンに積極的に参加し、チューリップ体操やラジオ体操等の運動、指体操やクイズ等を中心とした脳トレ等を実施することで参加者の介護予防に対する意識づけを行いました。また、高齢者サロンのイベントに出演依頼を受け、「けあぷら座」による寸劇や川柳クイズ等を通じて、消費者被害の予防や啓蒙活動を行いました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

多くの皆様に利用していただくために、広報紙や地域の会合、お祭りへの出店等を通じて積極的な広報を行い、これまであまりケアプラザに関心のなかった方にも活用していただけるような情報提供を積極的に行っていました。高齢者、障害児・者、子育て世代など幅広い層への施設紹介や、自主事業の開催、また、ホームページをこまめに更新し、若い世代に向けてネットを媒体とした情報発信に取り組みました。

また、効率的な施設貸出に向け、当ケアプラザを拠点に活動するサークルやボランティア等のグループを育成・支援し、グループの自主活動に向け、施設の貸出しを行うと共に、貸室登録団体のメンバー募集のチラシを貼りだすスペースをケアプラザ館内に設ける等グループの活動の支援を行いました。なお、29年度から、貸室の利用方法が変更となりましたが説明会を設け、また受付の際にお声掛けを密にすることで混乱なくご利用いただくことができました。希望が重なった際は調整を行い、少しでも多くの方にご利用頂けるよう努めました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

(1) ボランティア育成についての考え方

多様化・複雑化する地域のニーズに対応するため、柔軟に、きめ細かく対応できるボランティアとの協働が必要と考え、ボランティア間の協働やネットワーク化による活動内容の充実や活動しやすい環境の整備を心がけました。今後増加が見込まれる団塊世代の方々が活動しやすいような取組を目指し、生活支援コーディネーターを中心に、昨年設立された「男性のためのアクティブLife講座」を受講した男性有志により設立された男たちの活動グループ「ducks」の活動支援を行いました。

(2) ボランティア育成の取組

デイサービスでのボランティア活動以外にも、高齢者や、障害児・者、子育ての分野において積極的に活躍していただけるよう努めました。また、「よこはまシニアボランティアポイント事業」によりボランティアに興味のなかった方にも気軽に関わっていただけるよう働きかけを行いました。

育成体制

- ① 地域活動交流担当が、ボランティア活動に関しての相談、情報提供を一元的に行い、スムーズにボランティア活動が行えるよう支援しました。
- ② 個人またはグループで活動のできるボランティアの登録を受け付け、ケアプラザ内や地域での福祉保健に関する活動の場を提供できるよう区社会福祉協議会とも連携し、地域での活動の場の拡大を目指し、また、「よこはまシニアボランティアポイント事業」につなげられるよう支援しました。
- ③ ボランティアがより安心して活動できるように専門知識・介護技術等のスキルア

ップの機会を設けています。今年度は、「ボランティア感謝と交流の集い」の中でキャラバンメイトに講師を依頼し、認知症について学んでいただく研修会を実施しました。それによりキャラバンメイトの方の活動の場の拡充を図りました。

- ④ 個人ボランティアおよびボランティア団体同士のネットワーク形成を目指し、「ボランティア感謝と交流の集い」を開催しました。
- ⑤ 昨年度設立された男性たちの活動グループ「ducks」への支援として自主事業内でメンバー増加に向けた広報活動等を行いました。「ducks」のメンバーは生活支援コーディネーターを中心に、順調に活動実績を積み上げ、ケアプラザまつり「そよ風フェスタ」の際には、パネル展示をはじめ、会場整備等で大活躍をして下さいました。

活動環境整備

- ① 「ボランティア感謝と交流の集い」を実施しました。日頃の活動に関する感謝と労いを伝え、情報交換を通じ他の活動の理解を深めることで、ボランティア相互のつながりを強め、活動の刺激となるよう支援しました。
- ② 貸室利用団体のボランティア活動を支援するため年2回のクリーンアップ等様々な活動の場を提供いたしました。特にクリーンアップには、積極的にご参加下さる方が多く、1回あたり80名を超える参加者がありました。また、ケアプラザの自主事業の手伝い等活動の奨励を行いました。
- ③ 「よこはまシニアボランティアポイント事業」へ参画し、ボランティアのモチベーションがあがるよう情報提供や働きかけを行い、活動開始のきっかけ作りを支援しました。また、ボランティア希望の方に対し、たとえばデイサービスでの活動に関して、ドライバーかけ等だけでなく、囲碁や将棋の相手、カラオケ操作、演奏の披露等幅広い活動があることを伝え、ボランティアに対しての垣根が低くなるよう周知に努めました。
- ④ 日頃のボランティア活動に対して、泉区社会福祉顕彰候補者や横浜市社会福祉協議会会長顕彰への候補者として区社会福祉協議会へ推薦を行っております。29年度は長年デイサービスでハーモニカを披露して下さっている団体を推薦したところ、横浜市社会福祉協議会会長顕彰受賞となりました。ケアプラザ広報紙へ受賞者の記事を掲載し、地域の方へ広報すると共に、活動に対して感謝の気持ちを伝えました。

広報活動

- ① 今年度から初めて参加した、エリア内医療機関医療生協の「健康まつり」や和泉中央連合自治会「ふるさとまつり」等地域の行事を利用して広報活動を行いました。また、中・高生の実習の積極的受け入れを通じ、児童の頃からボランティア活動に親しめる環境づくりに取り組みました。
- ② 当ケアプラザのボランティア活動を、区社会福祉協議会、ケアマネジャー連絡会、自治会・町内会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会などをはじめ地域の方々に周知し、活動に対するモチベーションを高めていただくと共に、ボランティア未経験の方が気軽に参加できるよう働きかけを行いました。また、既にボランティア活動に参加されている方へも、積極的に自主事業の広報を行い、新たな活動の場を提供することができました。
- ③ 地域の中学校で行う職業講話や、中学生の福祉の職場体験受入、区社会福祉協議会のサマースクールの受入等にてボランティアの必要性や期待感等を伝え、活動につながるような支援を心がけました。
- ④ 泉区障がい児余暇支援事業「ジュニアフレンド」では、限られた範囲で生活しがちな障害のある児童に対し、生活経験の拡大を図ると共に、学生を中心としたボランティアの方にご協力いただき、障害に理解のあるボランティアの育成に努めました。
- ⑤ ケアプラザ事業や貸室登録団体の活動紹介を求めて来館された方へも、ボランティア活動への参加の働きかけを行いました。

- ⑥ 広報誌やホームページ等でボランティア募集情報を発信しました。特に、ケアプラザまつり「そよ風フェスタ」では、事前の会場整備や当日のデイサービスフロアでの接客等多くの分野で募集をかけ、多くの方にご参加いただきました。

研修等の実施

- ① 適正なボランティア活動を行っていただくため、毎年「ボランティア感謝と交流のつどい」の中で今後の活動に有益となるスキルアップ講座を開催しており、29年度は「認知症サポーター養成講座」を実施しました。
- ② 多くの方にいろいろな立場でボランティア活動に参加していただけるよう、また、ボランティア活動に対する垣根を低くし気軽にご参加いただけるよう地域で様々な特技やノウハウを持っている方を講師として夏休みの小学生を対象とした講座「いずみ中央ジュニアカレッジ」や貸室団体の方を講師とした講座「フラワーアレンジメント教室」を開催いたしました。
- ③ 気持ちよくボランティア活動を継続していただけるよう、ボランティア受け入れ時の対応に関する留意点等について、所内会議を通じケアプラザの全スタッフで共有しました。
- ④ 当ケアプラザでは「よこはまシニアボランティアポイント」の受け入れ施設となっており、29年度も登録研修会を実施いたしました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

(1) 情報収集

- ① 当プラザ独自で作成した「地域資源まるごとリスト」「見える化シート」を用い、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターや福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）3職種が地域情報を共有できるよう取り組みました。また必要に応じて、地域福祉保健計画等でも情報の提供・共有を行いました。
- ② 法人内の各職種の担当者会議や研修会などに積極的に参加し、福祉保健に関するさまざまな情報や地域の社会資源などについて、常に最新の情報を収集するよう努めました。
- ③ 地域においては、各関係機関の会合や各団体の催し、サロンに参加するなど地域の方の声を積極的に聞けるよう努め、また必要な情報を提供しました。
- ④ 子育て支援ネットワークへ積極的に参画し最新の情報を収集するように努めました。また、会議に参加する中で、当ケアプラザ自主事業に関するアイデア、助言をいただくことができました。
- ⑤ 和泉中央地区にある常設サロン「いこいの家」において、参加者や運営スタッフからの情報収集に努めました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ① 昨年度実施した「男性のためのアクティブLife講座」より男性の地域デビューを考え、講座等の運営企画を行う男性たちの活動グループ「ducks」が結成されました。メンバーとともに男性の地域デビューを促進し、地域の新たな男性の担い手発掘活動を実施しました。「男性のためのアクティブlife講座」及び「ducks」より地域内で新たなボランティア活動に繋がるケースが4例ありました。
- ② 若い世代をターゲットとした健康講座「Change The Life」を実施しました。若い世代に向けて、地域包括ケアシステムや健康になることが一番の介護予防となることを伝え、将来に向けた介護予防の取組を促進しました。この事業より介護予防を目的としたサークル「La Vita」が発足し、活動をスタートしています。
- ③ ゆるやかな見守り体制の構築への足がかりとして、「ducks」メンバーを対象に「認知症サポーター養成講座」を実施しました。実施後地域内のゆるやかな見守りに取組むこととなりました。
- ④ 福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）の保健師等看護師と連携し、泉区役

所・医療機関と共催した、介護予防普及啓発事業を実施しました。また、子育て世代を対象とした、泉区役所・泉スポーツセンターとの共催事業「姿勢測定会」を実施し、若い世代からの介護予防普及啓発に取り組みました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ① 所長及び福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）・地域活動交流コーディネーターと連携し、地域のサロンや体操教室、行事に積極的に参加しニーズ・資源の把握・分析を行い、地域アセスメントシートの作成・更新に努めました。
- ② 毎月男性たちの活動グループ「ducks」の定例会を実施しました。メンバーとともに議論を重ね、男性のニーズ把握に務め、ニーズにあった講座を実施しました。
- ③ 移送についてのニーズ把握を行いました。加齢によりサロンに参加できない人がいるという地域の声から、改めて移送についてニーズの把握を行い、他の社会福祉法人にも声かけして、資源開発に向けての検討をスタートさせました。

(3) 連携・協議の場

連携及び協議の場として包括単位の地域ケア会議と共催で、協議体を開催しました。今年度は、地域の中で実施されている高齢者見守りに関する活動報告や、新たに今年度にスタートした見守り事業の報告を参加者同士で共有いたしました。引き続きゆるやかな見守り体制の構築や居場所づくりを目標に和泉中央地区連合自治会、民児協、地区社協、公共施設（地区センター、コミハ、区民活動センター等）、郵便局、店舗、コンビニ、民間企業等と更なる顔の見える関係作りを行い、今後も協議の場を設け、更なる連携の強化に努めます。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ① 現在地域課題としてあがっている、認知症理解に関する取組として、「認知症サポーター養成講座」を新たな対象に開催しました。今年度は、福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）と連携し、近隣店舗スタッフにむけて初めて実施することが出来ました。また、「男性のためのアクティブ life 講座」内でも「認知症サポーター養成講座」を実施しました。
- ② そして、「認知症サポーター養成講座」を受講するだけでなく、受講後の具体的な取組みとしてお住まいの地域内でのゆるやかな見守りが必要なことを講座内で話しました。
- ③ 地域内の男性の孤立化・孤独化の防止、新たな仲間作りを目的とし昨年度実施した「男性のためのアクティブ Life 講座」の実施に関して、昨年同講座を受講した男性たちによる活動グループ「ducks」が主催として企画・運営を実施、6 回講座を行い約 90 名の男性が参加されました。泉区内他地域ケアプラザにも働き掛け、グループ及び講座をサポートした結果、他のケアプラザエリアで新たにボランティア活動を開始された方が 3 名いらっしゃいました。
この取組は、タウンニュースや神奈川新聞等、マスコミでも度々取り上げられ、「ducks」のメンバーの大きな励みとなりました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ① 地域の会合・サロン・シニアクラブ・地域行事等へ出向き、福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）の周知を行い、地域との関係づくりや連携を図りました。
- ② 区役所や地域の関係者（民生委員など）、ケアマネジャーとネットワーク構築を図り、地域での話し合いを開催するなど、密接な連携と情報共有により、地域のニーズを把握するように努めました。
- ② 郵便局、金融機関、コンビニ、医療機関などに福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）の案内を配布し、福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）の周知に努めました。
- ③ 地域で見守りが必要な方を早期に把握し見守りできるように、金融機関、コンビニ、スーパー等各種店舗、医療機関などと顔の見える関係作りを行いました。

② 実態把握

- ① 地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターと協力しながら法人の地域アセスメントシートを更新し、地域の実態把握に努めました。
- ② 地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターと協力し、各町内会館やコミュニティハウスで行われている地域活動の把握に努めました。
- ③ 地域からの相談状況を地図に表記し、地域の実態の「見える化シート」を更新しました。
- ④ 電話相談、窓口相談等のほか、地域及び福祉保健関係者等からの情報により、地域の実態把握に努めました。
- ⑤ 高齢者サロン・シニアクラブ・地域行事等に参加して、地域の実態把握に努めました。
- ⑥ 地域の金融機関、コンビニ、スーパー等各種店舗等、医療機関に福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）の周知を行い、情報収集や実態把握に努めました。
- ⑦ 事業開催時にアンケート調査を行い、地域の課題把握に努めました。

③ 総合相談支援

- ① 地域からの相談に関しては、当事者のみならず家族や地域の状況も踏まえ、対応しました。
- ② 電話相談、窓口相談、訪問等により高齢者介護を始めとする地域住民の幅広い相談に応じ、地域資源や介護予防事業等の情報を提供しました。また各種サービス機関・団体との連絡・調整により課題解決を図りました。
- ③ 支援や見守りが必要な高齢者に対して、訪問等、継続的な見守りと状況に合わせた支援を行い、関係機関や常設サロン「いこいの家」との連携を図りました。
- ④ 相談内容の分析を行い、地域の課題解決に努めました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ① 生活支援コーディネーターと共催する「虹いろ Life セミナー」にて「成年後見制度権利擁護」の講座を行い、普及啓発を行いました。
- ② 成年後見制度や法律に関する相談会を開催し、相談の掘り起こしに取り組みました。
- ③ 振り込め詐欺等の被害に遭わないようにチラシを作成し、注意喚起を行いました。
- ④ 地域の高齢者サロン等で、振り込め詐欺や消費者被害の防止をテーマに「けあぷら座」による寸劇を行い注意喚起しました。
- ⑤ 区社会福祉協議会あんしんセンターと協力して、地域サロンにてあんしんセンターの普及啓発を行いました。
- ⑥ 消費者被害に遭われそうな方への対応について関係機関等と相談し対応策や支援の方向性を確認しました。
- ⑦ 区高齢・障害支援課と区内 6 包括と協力し「わたしの人生計画帳」の改訂を行い、地域サロン等での周知を行いました。

② 高齢者虐待への対応

- ① 横浜市高齢者虐待防止マニュアルに基づき、実態を把握し区高齢・障害支援課と支援の方向性を共有し、役割分担を行い支援しました。
- ② 高齢者の虐待への対応は、区高齢・障害支援課や専門職者とも連携して、関係機関とチームでの支援体制を構築し専門的・継続的な視点から支援しました。
- ③ 早期発見できるよう、ケアマネジャーやサービス事業所、民生委員等関係機関と連携を図りました。
- ④ 虐待の疑われるケースについては、実態把握や情報収集を行うなど迅速な対応を図りました。また、定期的に訪問等を行うなど継続的な支援を行いました。
- ⑤ 介護者の精神的負担軽減のため「介護者のつどい」を 2 ヶ月に 1 回開催し介護者支援を行いました。
- ⑥ 区高齢・障害支援課と区内 6 包括と協力し、介護を抱え込まないためにはどのようにしたらよいか、介護を抱えている人を地域でどのように支えていけばよいか「高齢者虐待」という言葉を使わずに、早期発見できるポイントなどをまとめたリーフレット「気づき」を作成しました。

④ 認知症

- ① 昨年度地域ケア会議であがった「認知症への理解を深める」という課題に対し、自治会・町内会の各組織・店舗等に向けて、新たな場所で「認知症サポーター養成講座」を実施し地域に認知症の理解を深めました。
- ② 積極的に「認知症サポーター養成講座」を開催しサポーターを増やすとともに、サポーターが継続して活動できるようにしました。生活支援コーディネーターとも協働して、ゆるやかな見守り体制構築につながるような取組を行いました。
- ③ 地域のキャラバンメイトが主体的に活動できるよう、また、対象者に合わせて「認知症サポーター講座」が実施できるよう、連絡会や事前打ち合わせで講座内容を検討しました。
- ④ 4 月に「いこいの家」のスタッフ向けに認知症についての研修の実施や、「いこいの家」で 9 月からスタートした認知症カフェ「にちようカフェ」の立ち上げ・開催に対し、当日の運営・事務処理等にケアプラザとして協力しました。
- ⑤ 福祉の専門職であるケアマネジャーに対して、継続して認知症について学ぶ機会や SOS ネットワークの周知などを行いました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ① 地域サロン・シニアクラブ・イベント等に参加し、福祉総合相談窓口(地域包括支援センター)のPR・介護保険制度説明・介護予防啓発活動を行い、地域との関係づくり・連携を図りました。
- ② 介護保険制度やケアマネジャーの役割について、地域住民や関係機関に周知することで、ケアマネジャーのケアマネジメント支援につなげました。特に民生委員児童委員協議会からは、3回シリーズでケアプラザの役割・介護保険制度・ケアマネジャー業務について説明する機会をいただき連携支援を行いました。
- ③ ケアマネジャーと民生委員・サービス事業所との連絡会や勉強会を開催し、連携支援を行いました。
- ④ エリア内のグループホーム・小規模多機能型居宅介護・定時巡回随時訪問型介護看護・地域密着型通所介護の推進会議に出席し、情報交換を行い地域のサービス事業者との連携を図りました。
- ⑤ 「認知症SOS便利帳」「エリア内医療機関・調剤薬局情報」を更新し、地域住民やケアマネジャーに情報提供しました。

② 医療・介護の連携推進支援

- ① エリア内の医療機関(病院・医院・薬局)に定期的に訪問して関係作りを行い、地域の医療と介護のネットワーク構築につながるよう、努めました。
- ② 医療機関と協働し、ケアマネジャー向けに勉強会の開催をしました。
- ③ 区包括合同でエリア内の「医療機関・調剤薬局情報ガイド」を更新しました。ケアマネジャーが活用することで、ケアマネジャーと医療機関の連携がとりやすくなるようにしました。

③ ケアマネジャー支援

- ① ケアプラザや区包括合同で、月1回ケアマネ連絡会を開催し、ケアマネジャーのスキルアップとケアマネジャー同士の連携への支援を行いました。
- ② ケアマネジャーからの相談を随時受ける体制を確保し、相談に対しては専門的見地から助言・情報提供・同行訪問等を行いました。
- ③ 法人内主任ケアマネジャー連絡会で作成したアンケート「ケアマネジャーの皆様へのお願い」を基に、エリア内の居宅介護支援事業所を訪問し地域のケアマネジャーとの関係作りとケアマネジャーへの個別支援につながるよう努めました。
- ④ 区包括合同で新任ケアマネジャー向けに、3日間の研修を計画・実施しました。
- ⑤ エリア内の居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーに対し、ケアマネ連絡会等で講師を担ってもらえる機会を設け、主任ケアマネジャー更新の資格要件を満たす事と主任ケアマネジャーとしてのスキルアップを目的とした支援を行いました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ① 個別ケース・包括レベルでの地域ケア会議を年6回開催し、多職種による視点で地域の課題について検討する機会をつくりました。
- ② 地域ケア会議により、関係職種の連携と課題への共通認識が深まるよう努めました。
- ③ 効果的な地域ケア会議を進めていくため、生活支援コーディネーター・区とも協

働して、地域ケア会議前には議題の検討を、地域ケア会議後には振り返り・次に向けての取組の検討をしました。

- ④ 平成 28 年度の地域ケア会議であがった「認知症の理解を深める」の課題解決の取組を実践するために、今年度は生活支援コーディネーターとも協働し、更に「ゆるやかな見守り体制の構築」についての取組を進めました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ① 事業対象者・要支援のお客様一人ひとりについてのアセスメントを行い、お客様の個別性に対応した生活機能維持・向上と自立支援の視点を持った介護予防プランを作成しました。
- ② 介護予防の効果を最大限に発揮する為に、地域のインフォーマルマップを活用し情報提供を行いました。お客様の QOL の向上、自立支援に資するよう、介護予防プランの中に位置づけ、インフォーマルサービスの活用につながるよう支援を行いました。
- ③ 地域のケアマネジャーに対して、区・泉区内 6 包括との協力により、介護予防従事者研修を行い、介護予防ケアマネジメントのスキルアップにつながるよう支援しました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ① 高齢者サロン、シニアクラブにて、健康管理に関する情報提供を行い、個別健康相談に応じ個別性に応じたアドバイスを行いました。
- ② 地域の要請に応じて、地域自治会館での出張出前講座を行いました。
- ③ 地域の要請に応じて、泉区高齢・障害支援課と連携をとり地域自治会館で「出張測定会」を行いました。また測定結果に対するアドバイスを個別に行いました。
- ④ エリア内のコミュニティハウス、医療機関等と連携をとり、介護予防普及啓発事業のPRを行いました。その結果、今までケアプラザを利用したことのなかった高齢者の介護予防事業への参加へと繋がりました。
- ⑤ 地域体操リーダーやボランティアに「いこいの家ノルディックウォーキングクラブ」「はまちゃん体操クラブ」「コグニサイズで認知症予防」講座等、様々な介護予防事業に参加してもらい、スキルアップの機会となるよう支援しました。今後の地域介護予防活動の要として活動出来るよう、継続支援を行いました。
- ⑥ 泉区高齢・障害支援課、いずみ野、下和泉地域包括支援センターと共催事業として、地域体操教室の担い手及び介護予防活動に興味関心のある地域住民にむけて、「体操支援者スタート講座」を実施しスキルアップと情報交換の機会としました。
- ⑦ 常設サロン「いこいの家」を拠点とした、ノルディックウォーキング自主グループの活動継続支援を行いました。春の「瀬谷海軍道路お花見ウォーキング」秋の「江ノ島ウォーキング」等、長距離のスペシャルウォーキングを実施しました。
- ⑧ 泉区高齢・障害支援課と連携をとり、元気つくりステーション事業「よくばりクラブ」の継続支援を行いました。春の「足指力測定」や、冬の「ロコモ予防講座」等を実施しました。

5 その他

- ・今年度は、第三者評価・横浜市の実地指導監査・介護保険事業(通所介護・認知症対応型通所介護・居宅介護支援)における情報公表制度の訪問調査がありましたが、いずれも問題なく終了しました。
- ・当ケアプラザにおいて、区役所と共に「特別避難場所の開設・運営訓練」が出来たことは大きな成果でした。今後活かします。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ① ケアプラザは高齢者、障がい児・者、乳幼児等、様々な方が利用されます。地域の皆様が快適・安全に利用できるように、施設・設備の管理・保守・清潔の確保をすることに最善の注意を払いました。
- ② 具体的には、設備総合巡視、空調設備、消防設備、機械警備・自家用電気工作物等の定期的な保守点検、定期清掃や日常清掃、衛生管理、緑化管理、不具合の対応等を専門の委託業者と契約し適切に対応しました。
- ③ 建物の老朽化に伴う汚れや修繕箇所も増えており、従前から積極的に修繕や清掃等に努めてきましたが、今年度も区と協議しながら引き続き適切に対応しました。
- ④ 施設内外の環境保持については、日々の草取りボランティアの他、年2回ケアプラザの事業としてケアプラザご利用のお客様から募ったボランティアによる一斉清掃を行い、環境整備に努めました。参加者は、2回で146名となりこの取組も定着してきました。

(2) 効率的な運営への取組について

- ① 効率的な運営を目指し無駄な経費削減に向け各担当が連携して取り組みました。
- ② 法人本部とともに、建物管理・保守、清掃等の委託業者の選定を行いました。
- ③ 法人のスケールメリットを活用し、法人内の他の事業所と合同して車両リースの一括入札を行い経費削減を図りました。
- ④ 不必要な照明はこまめに消し、光熱費の削減を行っています。ソーラーシステムが導入されましたので適切に管理しました。
- ⑤ 職員には業務の効率化を指導し、超勤は極力減らしました。29年度はタイムレコーダーでの管理システムを導入しました。

(3) 苦情受付体制について

- ① 法人本部で定めている苦情解決規則に従い、ケアプラザの苦情受付担当者・苦情解決責任者を定め、館内に掲示するとともに、いただいたご意見に対しては責任を持って、お客様の立場に立って丁寧に対応させていただきました。
- ② 法人本部では第三者委員制度を設置し、お客様の声により公平にお伺いできる体制を整えています。
- ③ 館内に「ご意見箱」を設置しいつでもどなたからでもご意見がいただけるようにしていますが、29年度投函されたご意見は1枚もありませんでした。
- ④ 29年度の苦情は4件ありましたが、苦情解決後は、職員・スタッフ間で会議を通して共有・振り返りを行うことで、その後の業務のあり方や職員・スタッフのスキルアップにつながる体制を作りさらに意識を高めるようにしました。
- ⑤ 毎月、各事業所の苦情を本部で集計し、所長会で原因を考察し、事業所に持ち帰った情報を職員に周知徹底することで再発を防ぎました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ① 緊急時(事故・犯罪等)に備えて対応マニュアル・連絡網について見直し、研修を行いました。
- ② 今年度も防災対策に注力し、いずみ中央地域ケアプラザのマニュアル、BCP(事業継続計画)に沿った年2回以上の防災訓練を通して、緊急時にケアプラザ職員がマニュアルに則った対応がとれるよう、災害時の備えを行うと共に、29年度も危険場所の確認等をケアプラザ内防災委員会で行いました。
- ③ 区との協定により、ケアプラザは「特別避難場所」として、災害時に地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な高齢者などの避難場所としての役割を担っていきます。その為に29年度は、区役所と合同で「特別避難場所開設・運営訓練」を実施できたことは大きな進歩でした。次年度も職員誰もが対応できるように訓練を行います。27年度にプラザ内にある防災用品を特別避難場所用と職員用とに分けて整理し誰もがわかるようにしていますが、今年も確認しました。
- ④ 防犯対策としては、警備会社と委託契約し緊急対応が取れる体制を整えています。ボランティア等来所者には名札を渡し、不審者が入館できないようにしました。

(5) 事故防止への取組について

- ① 設備の法定点検や、チェック表・マニュアルによる日常点検を行うとともに、AED操作や救命救急の研修を行いました。
- ② 日常の業務において「ヒヤリ・ハット」の報告の徹底とその後の共有化にて、事故を未然に防ぐ努力と原因および改善点の検討を行いました。29年度は「ヒヤリ・ハット」の様式を変更すると共に、改めて職員研修を行い、「ヒヤリ・ハット」に関する認識を新たにしました。
- ③ 事故が起きた場合は、直ちに法人本部・区に一報を入れ、被害者が出た場合は真摯に対応し、再発防止に向けてその日のうちに原因を究明・分析、対応策を検討・実施後、報告書を作成して、再度、法人本部・区に報告しました。またミーティングや全体会議で報告し、職員全員に周知・徹底しました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ① 今年度も、法人本部で定めた個人情報保護規程に従い、個人情報の取り扱いには細心の注意を払って業務を行いました。
- ② 原則的にUSBは使用しません。
- ③ ファックスで情報を送信する際は、マスキングを徹底し、送信動作はチェックシートを使って必ず二人で行いました。
- ④ 送付物はできる限り封書を使用し、チェックシートでダブルチェックの上封入しました。
- ⑤ 館内での紛失を防ぐために、受付カウンターで個人情報を受け取る際や、FAXで受け取った際は、必ず法人指定の個人情報受付簿に記入しています。
- ⑥ 個人情報を含む書類等の保管は鍵のかかる場所としています。
- ⑦ やむを得ず個人情報を所外に持ち出す時は、出張命令簿に明記し上司の承認を得ています。
- ⑧ 個人情報保護の研修を全職員対象に行いました。(年2回実施)
日々の業務の流れについて各部署が常に課題意識を持ち随時検証しました。

(7) 情報公開への取組について

- ① 横浜市が制定する「情報公開条例」の趣旨に則り、当法人は情報公開規程を定めています。公開する情報としては、法人の概要、サービス内容、財務状況、事業計画、事業報告等です。
- ② また情報開示に関する申し出があった場合は、個人情報保護に最大限配慮しつつ、積極的に情報開示に努めますが、29年度も1件の申し出はありませんでした。

(8) 人権啓発への取組について

- ① 法人では「横浜市福祉サービス協会倫理綱領」を制定し、援助者として持つべき視点や人権意識を採用時研修や年1回の全職員対象の研修等で適宜確認しています。
- ② いずみ中央地域ケアプラザでも毎年4月には、全職員対象に「協会の倫理」や「横浜市福祉サービス協会倫理綱領」を基に人権についての研修を行い、人権意識の確認を行いました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ① 省エネルギー対策、ごみの減量化に努め、節電・節水をこまめに行いました。
- ② ゴミのルート回収を行い、徹底したゴミ分別と削減に努めました。
- ③ 夏はクールビズを、冬はウォームビズでの執務を心掛けています。
- ④ ボランティアの協力を得て施設周りの雑草の除去とともに四季折々の草花を育て、心の安らぎの提供を図りました。
- ⑤ 施設敷地内にある菜園に撒く肥料は、無臭のものを使い近隣に迷惑がかからないようにしました。
- ⑥ 住宅密集地なので、日々、ご近所の迷惑にならないよう音漏れに配慮しています。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

| | | |
|-----------|--------|----|
| 管理者 | (常勤兼務) | 1名 |
| 保健師職 | (常勤) | 1名 |
| 社会福祉士 | (常勤) | 2名 |
| 主任ケアマネジャー | (常勤) | 1名 |

計5名

《目標》

- ① 地域の高齢者が、その人らしい自立した生活を送れるよう介護予防給付、介護予防・日常生活支援総合事業を、適正に実施しました。
- ② サービス提供事業所や予防プラン委託先の居宅介護支援事業所と連絡調整を適宜行い、お客様の状況を把握及び共有してサービスの向上に努めました。
- ③ 泉区役所、コミュニティハウス、医療機関、他包括と連携を図り、地域の実情に合致した介護予防普及啓発事業を企画・実施しました。
- ④ 地域の介護予防グループ、体操教室の活性化に向けて、担い手のスキルアップや育成支援を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

※介護予防支援については原則として実費負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① エリア内の医療機関、コミュニティハウスと連携し、幅広い住民層を対象としたPRを行い、新たに介護予防事業に参加する地域住民を獲得しました。
- ② 包括支援センターと生活支援コーディネーターとの連携で「虹色 life セミナー」を毎月1回開催しました。権利擁護講座、認知症予防を目的としたコグニサイズ講座等を取り入れ実施しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

| | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 114 | 116 | 127 | 130 | 136 | 139 |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 137 | 132 | 137 | 142 | 139 | 136 |

●居宅介護支援事業

《職員体制》

| | | |
|----------------|-------|----|
| 管理者(主任介護支援専門員) | 常勤兼務 | 1名 |
| 介護支援専門員 | 常勤専従 | 2名 |
| 介護支援専門員 | 非常勤専従 | 2名 |

計 5名

《目標》

- ① 法令を遵守し、公正中立な立場から支援しました。
- ② お客様個別の生活課題を把握し専門的な見地からケアプランの作成を行いました。
- ③ お客様の声に耳を傾け、向上性のあるケアプランを作成しました。
- ④ きめ細やかにお客様のお宅を訪問し、状況変化等の把握に努めました。
- ⑤ 専門職としてスキルアップと研鑽に心がけ、ケアマネジャーとしての質の向上に努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

居宅介護支援についての実費負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① 特定事業所Ⅲとして24時間連絡できる体制をとりました。
- ② 毎週1回、ケアマネ会議を開催し、困難ケース等の対応についての検討や情報交換、研修等を行いました。その際、地域包括支援センターの主任介護支援専門員にも出席を願い、密な連携が図れるよう努めました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 108 | 112 | 115 | 118 | 118 | 115 |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 118 | 116 | 119 | 118 | 117 | 119 |

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 機能訓練をお客様毎の身体状況に応じて提供しました。
- 入浴、排泄、食事等の介助、支援、見守り等のサービスを行いました。
- 口腔機能向上支援サービスを提供しました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- | | | | |
|--------|---------|--|---------|
| | 1割負担分 | | 2割負担分 |
| （要介護1） | 692 円 | | 1,383 円 |
| （要介護2） | 817 円 | | 1,634 円 |
| （要介護3） | 947 円 | | 1,893 円 |
| （要介護4） | 1,077 円 | | 2,153 円 |
| （要介護5） | 1,206 円 | | 2,412 円 |
- 食費負担 700 円
- 行事食 お客様希望で行事食を提供した場合食費との差額分
- 通常外レクレーション等 実費
- 処遇改善加算 1か月のご利用単位数の1000分の59に相当する単位数の料金を加算

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:45 ~ 16:50

《職員体制》

生活相談員3名 看護師7名 厨房スタッフ6名
 介護スタッフ26名 ドライバー4名（全てシフトによる）
 月3日間 歯科衛生士の勤務（委託）

《目標》

お一人おひとりのお客様について自立支援の立場から、心身の状況、ニーズの把握をし、可能な限り居宅で自立した日常生活を継続できるよう支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

専門性を取り入れた口腔ケアを行いました。（歯科衛生士による）
 サークルやクラブ活動（カラオケ、絵画サークル、コーラス、習字、麻雀手芸、囲碁等）をご自分で選択して参加して頂きました。
 マシンを取り入れた機能訓練にご希望で参加して頂きました。
 「回想法」を積極的に取り入れていきました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 747 | 789 | 734 | 723 | 743 | 736 |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 712 | 678 | 712 | 618 | 650 | 751 |

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- 機能訓練をお客様毎の身体状況に応じて提供しました。
- 入浴、排泄、食事等の介助、支援、見守り等のサービスを行いました。
- 口腔機能向上支援サービスを提供しました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分 2割負担分
- (要支援1) 1,766円 3,531円
- (要支援2) 3,621円 7,241円
- 食費負担 700円
- 行事食 お客様希望で行事食を提供した場合食費との差額分
- 通常外レクレーション等 実費
- 処遇改善加算 1か月のご利用単位数の1000分の59に相当する単位数の料金を加算

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:45～ 15:30

《職員体制》

生活相談員3名 看護師7名 厨房スタッフ6名
 介護スタッフ26名 ドライバー4名（全てシフトによる）
 月3日間 歯科衛生士の勤務（委託）

《目標》 お一人おひとりのお客様について自立支援の立場から、心身の状況ニーズの把握をし、可能な限り居宅で自立した日常生活を継続できるよう支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・専門性を取り入れた口腔ケアを行いました。（歯科衛生士による）
- ・サークルやクラブ（絵画サークル、コーラス、習字、麻雀、手芸等）をご自分で選択して参加して頂きました。
- ・マシンを取り入れた機能訓練にご希望で参加して頂きました。
- ・「回想法」を積極的に取り入れてきました。
- ・デイサービスのお客様だけでなく、地域の方にも協力依頼し折り鶴を数千羽集めて作った「鳳凰」は、タウンニュースにも掲載され、他区からも見学者が来るなど好評でした。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 154 | 169 | 169 | 159 | 153 | 160 |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 154 | 149 | 159 | 154 | 163 | 184 |

認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 機能訓練をお客様毎の身体状況に応じて提供しました。
- 入浴、排泄、食事等の介助、支援、見守り等のサービスを行いました。
- 口腔機能向上支援サービスを提供しました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- | | | |
|--------|---------|---------|
| ● | 1割負担分 | 2割負担分 |
| (要介護1) | 1,072 円 | 2,144 円 |
| (要介護2) | 1,188 円 | 2,376 円 |
| (要介護3) | 1,305 円 | 2,609 円 |
| (要介護4) | 1,422 円 | 2,844 円 |
| (要介護5) | 1,539 円 | 3,077 円 |
-
- 食費負担 700 円
 - 行事食 お客様希望で行事食を提供した場合食費との差額分
 - 通常外レクレーション等 実費
 - 処遇改善加算 1か月のご利用単位数の1000分の104に相当する単位数の料金を加算

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:45 ~ 16:50

《職員体制》生活相談員3名 看護師7名 厨房スタッフ6名
 介護スタッフ26名 ドライバー4名（全てシフトによる）
 月3日間 歯科衛生士の勤務（委託）

《目標》

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・認知症の特性を理解し小規模体制による細やかな個別対応で安心してお過ごしいただきました。
- ・専門性を取り入れた口腔ケアを行いました。（歯科衛生士による）
- ・回想法の専門の研修を受けたスタッフが多数おり回想法に力を入れています。
- ・生活リハビリや様々なアクティビティーを取り入れ生活の質の向上を図りました。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 163 | 189 | 194 | 204 | 202 | 187 |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 196 | 211 | 214 | 190 | 190 | 213 |

平成29年度「いずみ中央地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

| 科目 | 当初予算額 (A) | 補正額 (B) | 予算現額 (C=A+B) | 決算額 (D) | 差引 (C-D) | 説明 |
|---------------------|------------|---------|--------------|------------|----------|-------|
| 指定管理料 | 15,645,282 | 837,447 | 14,807,835 | 14,807,835 | 0 | 横浜市より |
| 利用料金収入 | | | 0 | | 0 | |
| 指定管理料充当 事業 | 0 | | 0 | 135,300 | 135,300 | |
| 自主事業収入 | | | 0 | | 0 | |
| 雑入 | 0 | 0 | 0 | 133,155 | 133,155 | |
| 印刷代 | 0 | | 0 | 83,740 | 83,740 | |
| 自動販売機手数料 | 0 | | 0 | 19,752 | 19,752 | |
| 駐車場利用料収入 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他(指定管理料充当) | 0 | | 0 | 29,663 | 29,663 | |
| その他(施設使用料相当額 法人負担分) | 3,990,000 | | 3,990,000 | 3,990,000 | 0 | |
| その他(提案時控除 法人負担分) | 2,512,179 | | 2,512,179 | 2,512,179 | 0 | |
| 収入合計 | 22,147,461 | 837,447 | 21,310,014 | 21,578,469 | 268,455 | |

支出の部

| 科目 | 当初予算額 (A) | 補正額 (B) | 予算現額 (C=A+B) | 決算額 (D) | 差引 (C-D) | 説明 |
|--------------------|------------|---------|--------------|------------|-----------|--------|
| 人件費 | 11,985,427 | 0 | 11,985,427 | 10,297,558 | 1,687,869 | |
| 本俸 | 8,323,890 | | 8,323,890 | 7,287,203 | 1,036,687 | |
| 社会保険料 | 806,261 | | 806,261 | 1,063,356 | 257,095 | |
| 手当計 | 940,219 | | 940,219 | 1,815,300 | 875,081 | |
| 健康診断費 | 23,290 | | 23,290 | 70,318 | 47,028 | |
| 勤労者福祉共済掛金 | 8,256 | | 8,256 | 756 | 7,500 | ハーフれんど |
| 退職給付引当金繰入額 | | | 0 | 50,063 | 50,063 | |
| その他 | 1,883,511 | | 1,883,511 | 10,562 | 1,872,949 | |
| 事務費 | 1,085,000 | 0 | 1,085,000 | 1,936,177 | 851,177 | |
| 旅費 | 9,216 | | 9,216 | 20,674 | 11,458 | |
| 消耗品費 | 0 | | 0 | 234,113 | 234,113 | |
| 会議購い費 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 印刷製本費 | 234,452 | | 234,452 | 301,458 | 67,006 | |
| 通信費 | 251,907 | | 251,907 | 263,397 | 11,490 | |
| 使用料及び賃借料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 横浜市への支払分 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 備品購入費 | 0 | | 0 | 412,533 | 412,533 | |
| 図書購入費 | 0 | | 0 | 3,510 | 3,510 | |
| 施設賠償責任保険 | 68,087 | | 68,087 | 21,492 | 46,595 | |
| 職員等研修費 | 9,852 | | 9,852 | 21,269 | 11,417 | |
| 振込手数料 | 21,463 | | 21,463 | 42,805 | 21,342 | |
| リース料 | 356,626 | | 356,626 | 159,995 | 196,631 | |
| 手数料 | 21,737 | | 21,737 | 97,754 | 76,017 | |
| 地域協力費 | 24,800 | | 24,800 | 14,800 | 10,000 | |
| その他 | 86,860 | | 86,860 | 342,377 | 255,517 | |
| 事業費 | 1,972,000 | 0 | 1,972,000 | 529,095 | 1,442,905 | |
| 運営協議会経費 | 42,000 | | 42,000 | 16,380 | 25,620 | 予算：指定額 |
| 指定管理料充当 事業 | 1,930,000 | | 1,930,000 | 512,715 | 1,417,285 | |
| 管理費 | 6,146,200 | 0 | 6,146,200 | 6,168,168 | 21,968 | |
| 建築物・建築設備点検 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 予算：指定額 |
| 光熱水費 | 2,442,240 | 0 | 2,442,240 | 3,765,333 | 1,323,093 | |
| 電気料金 | 552,610 | | 552,610 | 941,333 | 388,723 | |
| ガス料金 | 642,051 | | 642,051 | 1,543,787 | 901,736 | |
| 水道料金 | 1,247,579 | | 1,247,579 | 1,280,213 | 32,634 | |
| 清掃費 | 762,951 | | 762,951 | 961,320 | 198,369 | |
| 修繕費 | 474,000 | 0 | 474,000 | 86,943 | 387,057 | 予算：指定額 |
| 機械整備費 | 122,861 | | 122,861 | 154,806 | 31,945 | |
| 設備保全費 | 864,977 | 0 | 864,977 | 865,460 | 483 | |
| 空調衛生設備保守 | 175,760 | | 175,760 | 310,149 | 134,389 | |
| 消防設備保守 | 12,798 | | 12,798 | 16,126 | 3,328 | |
| 電気設備保守 | 58,487 | | 58,487 | 73,694 | 15,207 | |
| 害虫駆除清掃保守 | 31,569 | | 31,569 | 168,781 | 137,212 | |
| 駐車場設備保全費 | 107,504 | | 107,504 | 135,455 | 27,951 | |
| その他保全費 | 478,859 | | 478,859 | 161,255 | 317,604 | |
| 共益費 | | | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 1,479,171 | | 1,479,171 | 334,306 | 1,144,865 | |
| 公租公課 | 958,834 | 0 | 958,834 | 823,804 | 135,030 | |
| 事業所税 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 消費税 | 958,834 | | 958,834 | 823,804 | 135,030 | |
| 印紙税 | | | 0 | 0 | 0 | |
| その他() | | | 0 | 0 | 0 | |
| 事務経費 (計算根拠を説明欄に記載) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 本部分 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 当該施設分 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 二一ス対応費 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 支出合計 | 22,147,461 | 0 | 22,147,461 | 19,754,802 | 2,392,659 | |
| 差引 | 0 | 837,447 | 837,447 | 1,823,667 | 2,661,114 | |

| | | | | | | |
|----------------|-----------|---|-----------|---------|-----------|-------------------------|
| 自主事業費収入 | 1,930,000 | | 1,930,000 | 0 | 1,930,000 | 予算：指定管理料に含む |
| 自主事業費支出 | 1,930,000 | | 1,930,000 | 512,715 | 1,417,285 | |
| 自主事業収支 | 0 | 0 | 0 | 512,715 | 512,715 | 自主事業(指定管理料充当の自主事業)費 |
| 管理許可・目的外使用許可収入 | 0 | | 0 | 19,752 | 19,752 | 駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入 |
| 管理許可・目的外使用許可支出 | 0 | | 0 | 135,455 | 135,455 | 使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費 |
| 管理許可・目的外使用許可収支 | 0 | | 0 | 115,703 | 115,703 | |

**平成29年度「いずみ中央地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉**

収入の部

(税込、単位：円)

| 科目 | 当初予算額 (A) | 補正額 (B) | 予算現額 (C=A+B) | 決算額 (D) | 差引 (C-D) | 説明 |
|------------------|--------------|------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 指定管理料(包括) | 29,169,000 | 438,891 | 28,730,109 | 28,730,109 | 0 | 横浜市より |
| 指定管理料(介護予防) | 151,000 | | 151,000 | 151,000 | 0 | 横浜市より |
| 指定管理料(生活支援) | 5,789,000 | 1,145,929 | 4,643,071 | 4,643,071 | 0 | 横浜市より |
| 利用料金収入 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 指定管理料充当事業(包括) | 0 | | 0 | 486,400 | 486,400 | |
| 指定管理料充当事業(介護予防) | 0 | | 0 | 45,900 | 45,900 | |
| 指定管理料充当事業(生活支援) | 0 | | 0 | 17,000 | 17,000 | |
| 自主事業収入 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 雑入 | 0 | 0 | 0 | 2,316 | 2,316 | |
| 印刷代 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 自動販売機手数料 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 駐車場利用料金収入 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他(指定管理充当) | 0 | | 0 | 2,316 | 2,316 | |
| その他(提案時控除 法人負担分) | 1,786,093 | | 1,786,093 | 1,786,093 | 0 | |
| 収入合計 | 36,895,093 | 1,584,820 | 35,310,273 | 35,861,889 | 551,616 | |

支出の部

| 科目 | 当初予算額 (A) | 補正額 (B) | 予算現額 (C=A+B) | 決算額 (D) | 差引 (C-D) | 説明 |
|-------------------|--------------|------------|-----------------|------------|-------------|--------|
| 人件費 | 32,956,293 | 0 | 32,956,293 | 32,088,085 | 868,208 | |
| 本俸 | 22,889,554 | | 22,889,554 | 17,697,000 | 5,192,554 | |
| 社会保険料 | 4,188,577 | | 4,188,577 | 4,207,266 | 18,689 | |
| 手当計 | 4,251,296 | | 4,251,296 | 9,306,077 | 5,054,781 | |
| 健康診断費 | 53,267 | | 53,267 | 87,860 | 34,593 | |
| 勤労者福祉共済掛金 | 27,756 | | 27,756 | 8,256 | 19,500 | ハマふれんど |
| 退職給付引当金繰入額 | | | 0 | 750,938 | 750,938 | |
| その他 | 1,545,843 | | 1,545,843 | 30,688 | 1,515,155 | |
| 事務費 | 340,000 | 0 | 340,000 | 1,588,853 | 1,248,853 | |
| 旅費 | 20,000 | | 20,000 | 34,786 | 14,786 | |
| 消耗品費 | | | 0 | 202,293 | 202,293 | |
| 会議諸費 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 印刷製本費 | 50,000 | | 50,000 | 167,279 | 117,279 | |
| 通信費 | 100,000 | | 100,000 | 271,743 | 171,743 | |
| 使用料及び賃借料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 横浜市への支払分 | | | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 備品購入費 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 図書購入費 | | | 0 | 3,510 | 3,510 | |
| 施設賠償責任保険 | 15,000 | | 15,000 | 14,560 | 440 | |
| 職員等研修費 | 10,000 | | 10,000 | 26,729 | 16,729 | |
| 振込手数料 | 5,000 | | 5,000 | 42,955 | 37,955 | |
| リース料 | 100,000 | | 100,000 | 85,503 | 14,497 | |
| 手数料 | 5,000 | | 5,000 | 133,850 | 128,850 | |
| 地域協力費 | 10,000 | | 10,000 | 14,000 | 4,000 | |
| その他 | 25,000 | | 25,000 | 591,645 | 566,645 | |
| 事業費 | 1,965,000 | 0 | 1,965,000 | 1,624,318 | 340,682 | |
| 協力医 | 630,000 | | 630,000 | 294,000 | 336,000 | 予算:指定額 |
| 指定管理料充当自主事業(包括) | 875,000 | | 875,000 | 933,215 | 58,215 | |
| 指定管理料充当自主事業(介護予防) | 151,000 | | 151,000 | 198,804 | 47,804 | 予算:指定額 |
| 指定管理料充当自主事業(生活支援) | 309,000 | | 309,000 | 198,299 | 110,701 | 予算:指定額 |
| 管理費 | 1,633,800 | 0 | 1,633,800 | 1,639,627 | 5,827 | |
| 建築物・建築設備点検 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 予算:指定額 |
| 光熱水費 | 649,200 | 0 | 649,200 | 1,000,911 | 351,711 | |
| 電気料金 | 146,896 | | 146,896 | 250,228 | 103,332 | |
| ガス料金 | 170,671 | | 170,671 | 410,373 | 239,702 | |
| 水道料金 | 331,633 | | 331,633 | 340,310 | 8,677 | |
| 清掃費 | 202,809 | | 202,809 | 255,539 | 52,730 | |
| 修繕費 | 126,000 | | 126,000 | 23,109 | 102,891 | 予算:指定額 |
| 機械警備費 | 32,659 | | 32,659 | 41,150 | 8,491 | |
| 設備保全費 | 229,927 | 0 | 229,927 | 230,053 | 126 | |
| 空調衛生設備保守 | 46,720 | | 46,720 | 82,442 | 35,722 | |
| 消防設備保守 | 3,402 | | 3,402 | 4,286 | 884 | |
| 電気設備保守 | 15,547 | | 15,547 | 19,589 | 4,042 | |
| 害虫駆除清掃保守 | 8,391 | | 8,391 | 44,865 | 36,474 | |
| 駐車場設備保全費 | 28,576 | | 28,576 | 36,006 | 7,430 | |
| その他保全費 | 127,291 | | 127,291 | 42,865 | 84,426 | |
| 共益費 | | | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 393,205 | | 393,205 | 88,865 | 304,340 | |
| 公租公課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 事業所税 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 消費税 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 印紙税 | | | 0 | 0 | 0 | |
| その他() | | | 0 | 0 | 0 | |
| 事務経費(計算根拠を説明欄に記) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 本部分 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 当該施設分 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 二一ス対応費 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 支出合計 | 36,895,093 | 0 | 36,895,093 | 36,940,883 | 45,790 | |
| 差引 | 0 | 1,584,820 | 1,584,820 | 1,078,994 | 505,826 | |

| | | | | | | |
|---------|-----------|--|--|-----------|--|----------------------|
| 自主事業費収入 | 1,335,000 | | | 549,300 | | 予算:指定管理料を含む |
| 自主事業費支出 | 1,335,000 | | | 1,330,318 | | |
| 自主事業収支 | 0 | | | 781,018 | | ⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費 |

| | | | | | | |
|----------------|---|--|--|--------|--|------------------------|
| 管理許可・目的外使用許可収入 | 0 | | | 0 | | 駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人 |
| 管理許可・目的外使用許可支出 | 0 | | | 36,006 | | 使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費 |
| 管理許可・目的外使用許可収支 | 0 | | | 36,006 | | |

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名:いずみ中央地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位:千円)

| | 科目 | 介護予防支援 | 居宅介護支援 | 認知通所 | 通所介護 | 予防通所介護・ 第1号通所介護 |
|----|---------------------|--------------|---------------|---------------|---------------|--------------------|
| | | 収入 | 介護保険収入 | 4,300 | 20,457 | 36,076 |
| | その他 | 4,909 | 252 | | 406 | 86 |
| | 介護予防ケアマネジメント 費 | 3,817 | | | | |
| | 事業・負担金収入 | 1,091 | | | | |
| | その他 | | 252 | | 406 | 86 |
| | 収入合計(A) | 9,208 | 20,709 | 36,076 | 81,708 | 15,988 |
| 支出 | 人件費 | 986 | 18,383 | 20,272 | 54,407 | 11,546 |
| | 事務費 | 18 | 1,796 | 2,649 | 5,854 | 1,242 |
| | 事業費 | 45 | 269 | 2,552 | 7,034 | 1,493 |
| | 管理費 | 0 | | 1,757 | 6,015 | 1,276 |
| | その他 | 5,890 | 0 | | 358 | 76 |
| | 利用者負担軽減額 | | | | 52 | 11 |
| | 消費税 | | | | 0 | 0 |
| | 介護予防プラン委託料 | 5,890 | | | 0 | 0 |
| | | | | | 0 | 0 |
| | その他 | | | | 0 | 0 |
| | その他 | | | | 307 | 65 |
| | 支出合計(B) | 6,940 | 20,448 | 27,231 | 73,668 | 15,633 |
| | 収支 (A) - (B) | 2,269 | 261 | 8,846 | 8,039 | 355 |

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

いずみ中央地域ケアプラザ

| 事業名 | ①主な対象者 | 自主事業決算額 | | | | | | |
|-------------------|-------------|---------|-------|--------|--------|------|---------|--------|
| | ②参加人数 | 総経費 | 収入 | | | 支出 | | |
| | ③一人当たり参加費 | | 指定管理料 | 参加費 | その他 | 講師謝金 | 材料費 | その他 |
| 施設見学会 | 地域住民 | 9,000 | 地活 | | | | | |
| | 30名 | | 包括 | | | | | 9,000 |
| | 0円 | | 生活 | | | | | |
| スクエアステップ | 地域高齢者 | 133,634 | 地活 | | | | | |
| | 20名 | | 包括 | | 65,600 | | 133,634 | |
| | 200円 | | 生活 | | | | | |
| 細胞が若返る呼吸法 | 地域高齢者 | 115,265 | 地活 | | | | | |
| | 15名 | | 包括 | | 79,000 | | 115,265 | |
| | 500円 | | 生活 | | | | | |
| 継続ゆる体操教室 | 地域高齢者 | 115,000 | 地活 | | | | | |
| | 20名 | | 包括 | | 68,100 | | 115,000 | |
| | 500円 | | 生活 | | | | | |
| いしがやき健康体操男性教室 | 地域高齢者 | 197,087 | 地活 | | | | | |
| | 20名 | | 包括 | | 96,500 | | 196,009 | 1,078 |
| | 500円 | | 生活 | | | | | |
| 1.8セラクラブ | 地域高齢者 | 113,584 | 地活 | | | | | |
| | 20名 | | 包括 | | 67,800 | | 113,584 | |
| | 200円 | | 生活 | | | | | |
| はまちゃん体操クラブ | 地域高齢者 | 69,000 | 地活 | | | | | |
| | 40名 | | 包括 | | | | | 69,000 |
| | 100円 | | 生活 | | | | | |
| ゆる体操体験コース | 地域高齢者 | 110,000 | 地活 | | | | | |
| | 20名 | | 包括 | 51,400 | | | 110,000 | |
| | 200円 | | 生活 | | | | | |
| サロンドレミ | 地域高齢者 | 48,000 | 地活 | | | | | |
| | 25名 | | 包括 | 18,900 | | | 48,000 | |
| | 300円 | | 生活 | | | | | |
| 介護者のつどい | 地域住民 | | 地活 | | | | | |
| | 18名 | | 包括 | | | | | 3690 |
| | 0円 | | 生活 | | | | | |
| いずみ中央・いずみ野ケアマネ連絡会 | エリア内ケアマネジャー | 10,936 | 地活 | | | | | |
| | 40名 | | 包括 | | | | | 10,936 |
| | 0円 | | 生活 | | | | | |
| | | | 地活 | | | | | |
| | | | 包括 | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | |

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

いずみ中央地域ケアプラザ

| 事業名 | ①主な対象者 | 自主事業決算額 | | | | | | | |
|----------------------|-------------------|---------|-------|-----|--------|-------|--------|--------|--------|
| | ②参加人数 | 総経費 | 収入 | | | 支出 | | | |
| | ③一人当たり参加費 | | 指定管理料 | 参加費 | その他 | 講師謝金 | 材料費 | その他 | |
| ラジオ体操 | 地域 | 2,106 | 地活 | | | | | | 2,106 |
| | 20名 | | 包括 | | | | | | |
| | 0 | | 生活 | | | | | | |
| おはなし会 | 未就園児 | 21,000 | 地活 | | | | | | 21,000 |
| | 20名 | | 包括 | | | | | | |
| | 0 | | 生活 | | | | | | |
| 子育て仲間 ぼんぼこPART II | 未就園児 | 49,160 | 地活 | | | | 30,000 | 2,160 | 17,000 |
| | 70名 | | 包括 | | | | | | |
| | 100 | | 生活 | | | | | | |
| 飛行船いずみ | 障害児・者 | 78,910 | 地活 | | 41,700 | | | | 78,910 |
| | 10名 | | 包括 | | | | | | |
| | 200 or 500 | | 生活 | | | | | | |
| 異世代交流サロン みんなの広場 | 4歳児～高齢者 | 54,868 | 地活 | | 30,400 | | 5,568 | 43,180 | 6,120 |
| | 20名 | | 包括 | | | | | | |
| | 100 or 300 or 500 | | 生活 | | | | | | |
| うたごえサロン | 高齢者 | 17,000 | 地活 | | | | | | 17,000 |
| | 80名 | | 包括 | | | | | | |
| | 0 | | 生活 | | | | | | |
| ほっこりサロン | 障害者 | 4,549 | 地活 | | 1,600 | | | | 4,549 |
| | 5名 | | 包括 | | | | | | |
| | 100 | | 生活 | | | | | | |
| 茶ろんいずみ | 高齢者 | 25,911 | 地活 | | 23,800 | | | | 25,911 |
| | 50名 | | 包括 | | | | | | |
| | 100 or 200 or 300 | | 生活 | | | | | | |
| ふれあって菜園 | 地域 | 16,441 | 地活 | | | 2,500 | | 12,471 | 3,970 |
| | 定員なし | | 包括 | | | | | | |
| | 0 | | 生活 | | | | | | |
| パパと遊ぼう | 未就園児と保護者 | 840 | 地活 | | | | | | 840 |
| | 定員なし | | 包括 | | | | | | |
| | 0 | | 生活 | | | | | | |
| ケアプラザクリーンアップ | 地域 | 39,535 | 地活 | | | | | | 39,535 |
| | 定員なし | | 包括 | | | | | | |
| | 0 | | 生活 | | | | | | |
| 夏休みラジオ体操 | 児童 | 8,424 | 地活 | | | | | | 8,424 |
| | 定員なし | | 包括 | | | | | | |
| | 0 | | 生活 | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

いずみ中央地域ケアプラザ

| 事業名 | ①主な対象者 | 自主事業決算額 | | | | | | |
|----------------------------------|-----------|---------|-------|-------|-----|-------|-------|--------|
| | ②参加人数 | 総経費 | 収入 | | | 支出 | | |
| | ③一人当たり参加費 | | 指定管理料 | 参加費 | その他 | 講師謝金 | 材料費 | その他 |
| ジュニアカレッジ 将棋入門 | 児童 | 8,834 | 地活 | | | | | 8834 |
| | 10名 | | 包括 | | | | | |
| | 0 | | 生活 | | | | | |
| ジュニアカレッジ カップケーキ作り | 児童 | 7,537 | 地活 | 4800 | | | 6865 | 672 |
| | 24名 | | 包括 | | | | | |
| | 200 | | 生活 | | | | | |
| ジュニアカレッジ 科学実験教室 | 児童 | 1,560 | 地活 | | | | | 1560 |
| | 20名 | | 包括 | | | | | |
| | 0 | | 生活 | | | | | |
| そよ風フェスタ | 地域 | 120,084 | 地活 | | | 12700 | | 120084 |
| | 定員なし | | 包括 | | | | | |
| | 0 | | 生活 | | | | | |
| クリスマスアレンジメントフラワー教室 | 児童 | 13,560 | 地活 | 12000 | | | 13000 | 560 |
| | 12名 | | 包括 | | | | | |
| | 1000 | | 生活 | | | | | |
| ういずみーの会 (重症心身障がい児と 家族の交流会) | 障害児・家族 | 0 | 地活 | | | | | |
| | 定員なし | | 包括 | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | |
| ケアプラ文庫 | 地域 | 0 | 地活 | | | | | |
| | 定員なし | | 包括 | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | |
| 貸室団体交流会 | 地域 | 0 | 地活 | | | | | |
| | 定員なし | | 包括 | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | |
| ジュニアフレンド事業 | 障害児 | 0 | 地活 | | | | | |
| | 10名 | | 包括 | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | |
| ボランティア感謝と 交流の集い | 地域 | 41,696 | 地活 | | | | | 41696 |
| | 定員なし | | 包括 | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | |
| 親子でお茶会 | 障害児・家族 | 0 | 地活 | | | | | |
| | 定員なし | | 包括 | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | |
| まほろば会 | 高齢者 | 0 | 地活 | | | | | |
| | 12名 | | 包括 | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | |
| | | | | | | | | |

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

いずみ中央地域ケアプラザ

| 事業名 | ①主な対象者 | 自主事業決算額 | | | | | | |
|---------|-----------|---------|-------|-----|-----|------|-----|-----|
| | ②参加人数 | 総経費 | 収入 | | | 支出 | | |
| | ③一人当たり参加費 | | 指定管理料 | 参加費 | その他 | 講師謝金 | 材料費 | その他 |
| サマースクール | 児童 | 0 | 地活 | | | | | |
| | 定員なし | | 包括 | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | |
| 環境絵日記展 | 地域 | 700 | 地活 | | | | | 700 |
| | 定員なし | | 包括 | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | |
| | | 0 | 地活 | | | | | |
| | | | 包括 | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | |
| | | 0 | 地活 | | | | | |
| | | | 包括 | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | |
| | | 0 | 地活 | | | | | |
| | | | 包括 | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | |
| | | 0 | 地活 | | | | | |
| | | | 包括 | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | |
| | | 0 | 地活 | | | | | |
| | | | 包括 | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | |
| | | 0 | 地活 | | | | | |
| | | | 包括 | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | |
| | | 0 | 地活 | | | | | |
| | | | 包括 | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | |

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

いずみ中央地域ケアプラザ

| 事業名 | ①主な対象者 | 自主事業決算額 | | | | | | | |
|------------------------|------------------|---------|-------|-----|-------|------|--------|--------|--------|
| | ②参加人数 | 総経費 | 収入 | | | 支出 | | | |
| | ③一人当たり参加費 | | 指定管理料 | 参加費 | その他 | 講師謝金 | 材料費 | その他 | |
| 男性のためのアクティブLife講座 | 区内在住・在勤の50歳以上の男性 | 83,569 | 地活 | | | | | | |
| | 89名 | | 包括 | | | | | | |
| | 無料～500円 | | 生活 | | 6,500 | | 5,568 | 11,969 | 66,032 |
| Change The Life | 20歳～60歳までの方 | 62,095 | 地活 | | | | | | |
| | 40名 | | 包括 | | | | | | |
| | 100円 | | 生活 | | 4,000 | | 35,638 | | 26,457 |
| 発達障害と子どもたち2017 | どなたでも | 11,137 | 地活 | | | | | | |
| | 35名 | | 包括 | | | | 5,569 | | |
| | 無料 | | 生活 | | | | 5,568 | | |
| よこはまシニアボランティアポイント登録研修会 | 65歳以上の横浜市民 | 0 | 地活 | | | | | | |
| | 7名 | | 包括 | | | | | | |
| | 無料 | | 生活 | | | | | | |
| いずみオ・ト・ナCollege | 泉区在住・在勤の方 | 22,322 | 地活 | | | | | | |
| | 59名 | | 包括 | | | | | | |
| | 100 | | 生活 | | | | | 22,322 | |
| | | | 地活 | | | | | | |
| | | | 包括 | | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | | |
| | | | 地活 | | | | | | |
| | | | 包括 | | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | | |
| | | | 地活 | | | | | | |
| | | | 包括 | | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | | |
| | | | 地活 | | | | | | |
| | | | 包括 | | | | | | |
| | | | 生活 | | | | | | |

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業報告書

資料4-1

横浜市いずみ中央地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|------------|--|-------------------|
| はまちゃん体操クラブ | 地域の一般高齢者を対象とし、はまちゃん体操を中心とした椅子に座ったままで行なう運動メニュー、脳トレを取り入れ開催した。併せて地域体操リーダーにボランティア講師として担い手となってもらい、地域介護予防活動支援事業の一環として実施した。 | 毎月2回（第2火曜日・第4木曜日） |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-----------|--|---------------|
| 1. 8セラクラブ | 地域の一般高齢者を対象とし、筋力低下等が現れている高齢者でも、無理なく座ったまま、安全な運動を継続的に行う機会を提供する。セラバンドを活用し、筋力の維持・向上に取り組む。また馴染みの仲間と楽しく運動を継続することで、閉じこもり予防を目的とする。 | 毎月2回（第2・4月曜日） |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|----------|---|---------------|
| 継続ゆる体操教室 | 地域の一般高齢者を対象とし、ゆる体操を継続的に続けたいと希望している方の為の教室である。ゆる体操の基礎的な動きから応用的な動きまで幅広いメニューで行う。血流・リンパ液の流れが維持改善されることを目的とし、実施した。 | 毎月2回（第1・3金曜日） |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|------------|---|---------------|
| 体験ゆる体操2016 | 地域の一般高齢者を対象とし、ゆる体操初心者、体験希望者を対象として開催した。身体機能維持を目的として、身体機能が低下している方でも可能な運動を中心として開催。血流・リンパ液の流れが維持改善されることを目的とし、基礎的メニューを中心として実施した。 | 毎月2回（第2・4金曜日） |

平成29年度 自主事業報告書

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|--------|--|-------------|
| サロンドレミ | 音楽療法により、認知症予防・閉じこもり予防・口腔機能維持改善・心肺機能維持改善を目的として開催した。自宅でも出来る脳活性化メニュー、回想法、足腰を使ったメニューも取り入れ様々な視点から脳の活性化に取り組む実施した。地域住民にボランティアとして参加してもらい、自分自身のスキルアップに繋げる目的で開催した。 | 毎月1回（第3日曜日） |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|--------------|--|---------------|
| かがやき健康体操男性教室 | 男性一般高齢者を対象として、短時間で口腔機能維持改善・心肺機能維持改善を目的として開催。自宅でも出来る脳活性化メニュー、口腔体操、足腰を使ったメニューも取り入れ様々な視点から脳の活性化に取り組み実施した。体操開始前の握力・血圧測定も同時に実施した。 | 毎月2回（第2・4土曜日） |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|------------|---|-------------------|
| スクエアステップ講座 | 一般高齢者を対象として、スクエアステップマットを使用してラインを踏まないように運動することで、敏捷性・バランス性を保持し、転倒予防へと繋がることを目的として開催した。ステップを覚え実際に脳と身体を同時に使う事が脳の活性化へと繋がり、認知機能の低下を防ぐ事を目的とし実施した。 | 毎月2回（第1月曜日・第3火曜日） |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-------------|--|------------|
| 細胞が若返る呼吸法講座 | 呼吸法を学び、心肺機能の維持・向上、呼吸によるリラックスやストレス軽減を目的として開催。腹式呼吸を繰り返すことで、インナーマッスルの強化を目指し、実施した。 | 毎月2回（曜日不定） |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|----------------------|--|-------------------|
| いこいの家ノルディックウォーキングクラブ | 一般高齢者を対象として、ノルディックウォーキングに定期的に取り組んだ。コース決めや、リーダーは地域住民ボランティアが行なえるよう後方支援した。春・秋・冬の季節毎に湘南台お花見ウォーキング、中田公園あじさいウォーキング、大池公園ウォーキング等をボランティア主体で企画し開催した。 | 毎月2回（第1月曜日・第3火曜日） |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|---------|---|--------------------------------------|
| 介護者のつどい | (目的) ・在宅で介護されている方、介護が終わった方、介護に興味のある方などが参加し、介護の悩みや情報交換をする場を提供。 (内容) ・介護されている方が、それぞれの介護の状況について話をし情報交換をした。 ・介護に関する情報提供、ミニ講座を行った。 | 年6回(4/28、6/23、8/25、10/27、12/22,2/23) |

平成29年度 自主事業報告書

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-------|--|--|
| 施設見学会 | <p>(目的) 昨年実施した講座アンケートから地域住民から施設見学会の要望があり、地域住民向けに施設見学会を実施。</p> <p>(内容) ・介護老人保健施設2箇所、特別養護老人ホーム2箇所、グループホーム2箇所を見学した。 ・社会福祉法人の社会貢献のため、デイサービスの送迎車を利用し見学者の送迎を行った。</p> | <p>年3回 (9 /13,10/18,11/15)</p> |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-------------|--|---|
| 虹いろLifeセミナー | <p>(目的) 地域住民に対し、権利擁護に関する内容や今後役立つ内容の講座を実施。</p> <p>(内容) 成年後見制度・遺言相続・認知症サポーター養成講座・施設の選び方講座・介護保険と福祉用具について・プロから学ぶ片付け講座など実施した。</p> | <p>年7回 (4/15,5/20,6/17,7/ 15, 9/16, 10/21, 12/16)</p> |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|---------|---|-----------------------|
| 法テラス相談会 | <p>法テラスが設立された4/10を「法テラスの日」として、多くの人に法テラスをしていただくために無料相談会を開催しているため、ケアプラザで開催することで、より地域の方が身近に法律相談できるように開催した。</p> | <p>年1回 (5/20)</p> |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|------------------|---|-------------------------|
| いず中央・いずみ野ケアマネ連絡会 | <p>エリア内のケアマネジャーが、多職種連携や地域の社会資源とのつながりが持てること、また、ケアマネジメントの質の向上が図れるよう、定期的にグループワークなどによる勉強会・研修会・交流のための機会と場をつくり開催した。</p> | <p>毎月第3火曜日 (7回)</p> |

平成29年度 自主事業報告書

資料4-1

横浜市いずみ中央地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|--------------------|--|--|
| 子育て仲間 ぽんぽこPART2 | <p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びを生活の一部として取り入れ、子どもたちの成長の糧とする。 ・子育て中の保護者同士の交流や情報交換の場の提供。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児とその保護者を対象に、保育ボランティアが手作りおもちゃ、手遊び、イベントなどで盛上げた。 | <p>毎月第2木曜 (8月・3月はお休み) 全10回</p> |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-------|--|-------------------------------------|
| おはなし会 | <p>(目的)</p> <p>親子が一緒に楽しめる場を提供し、絵本を通じて素直な心、夢を描く心、人の話を聴く心を育てる。</p> <p>(内容)</p> <p>わらべ歌の合唱や、手遊びや絵本の読み聞かせを通して親子のスキンシップ、参加者同士の交流が行えた。</p> | <p>毎月第3木曜 (8月はお休み) 全11回</p> |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|--------|--|--------------------------|
| 飛行船いずみ | <p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学齢障害児への放課後余暇支援。 ・地域ボランティアとの交流の場の提供。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援学級に通う小・中学生と特別支援学校に通う高校生、卒業したメンバーとボランティアとで、音楽、運動など季節に合わせたプログラムを楽しんだ。 | <p>毎月第2・4火曜 全24回</p> |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|--------|---|--|
| 茶ろんいずみ | <p>(目的)</p> <p>外出支援と介護予防を目的としたミニデイサービスで、高齢者の閉じこもりを予防。</p> <p>(内容)</p> <p>音楽に合わせた体操で始まり、その後は書道、手芸、カラオケ、麻雀のグループに分かれて趣味活動を実施。季節に合わせたプログラムも適宜行った。(9月:茶ろん15周年イベント 12月:クリスマス会 1月:新年会)</p> | <p>毎月第1・3・4水曜日 (8月・12月・1月は2回/月) 全33回</p> |

平成29年度 自主事業報告書

横浜市いずみ中央地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|---------|--|----------------|
| ほっこりサロン | <p>(目的) 生きづらさを感じている、心の病を抱えている方のための余暇を過ごす場を作り、ストレスの解消や生活の活性化を目指す。</p> <p>(内容) お菓子づくりや作ったお菓子を食べながらの茶話会、フラフープを使ったエクササイズ等を行った。</p> | 毎月第4日曜 全12回 |

| | | |
|-------|--|-------------------------------|
| ラジオ体操 | <p>(目的) 地域の方が毎朝決まった時間に集まり、ラジオ体操を一緒に行うことにより生活リズムを維持する。</p> <p>(内容) 毎朝送迎車の出入りが少ない時間帯にケアプラザロータリー広場にてラジオ体操第1・2を実施した。</p> | 年末年始(12/29～1/3)のぞく毎日 全359回 |
|-------|--|-------------------------------|

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|---------|--|--|
| うたごえサロン | <p>(目的) 歌を通じて地域住民同士の交流の促進を図る。</p> <p>(内容) ボランティアの生演奏に合わせて合唱を楽しんでいただいた。</p> | 毎月第1日曜 (12月はそよ風フェスタのため第3日曜) 全12回 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|--------------------|--|----------------|
| 異世代交流サロン みんなの広場 | <p>(目的) 小さいお子さんから高齢者の方がプログラムを通じて交流し、新たな縁を育むこと。</p> <p>(内容) 料理(カレー、筍ご飯、ハンバーグなど)、ウォーキングを通じ、参加者同士交流が生まれた。</p> | 不定期第4土曜 全8回 |

平成29年度 自主事業報告書

横浜市いずみ中央地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|---------------------------------|---|---------------|
| いずみーの会 (重症心身障がい児 と家族の交流会) | (目的) 療育センター等からだけでは知りえない様々な情報を交換し合う。 (内容) ・子どもと一緒に集まった保護者同士が情報交換をしながら交流を広げる。 ・地域活動ホームかがやきとの共催事業。 ・2度開催するが、体調不良のため参加者はともに0人であった。 | 12月・3月 全2回 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|--------|---|--------------|
| パパと遊ぼう | (目的) ・子育てにパパの参加を促す。 ・子育て中の保護者同士の交流や情報交換の場の提供。 (内容) ・子育て支援ネットワーク関連機関で幼児とその保護者を対象に公園あそびを実施した。 | 6月・9月 全2回 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|------------------|--|---------------|
| ケアプラザ クリーンアップ | (目的) 貸室及びケアプラザ外周の清潔保持に努めるとともに、普段貸室を利用する団体同士の交流促進を促す。 (内容) 各団体同士が協力し、ケアプラザ内の部屋(多目的ホール、調理室、地域ケアルーム、ボランティアルーム)と外回りの清掃を行った。 | 6月・11月 全2回 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|--------|--|-----------------------------------|
| ケアプラ文庫 | (目的) 図書館まで行くのは遠くて大変、という方たちのために気軽に利用できる貸し出し図書。 (内容) リサイクル本で、幼児から高齢者までが利用できる本を揃えるようにし、貸し出しを行った。 | 年末年始(12/29～ 1/3)のぞく毎日 全359回 |

平成29年度 自主事業報告書

横浜市いずみ中央地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|---------|---|-----------|
| 貸室団体交流会 | <p>(目的) 貸室を普段利用する皆様に、ケアプラザの機能についてや利用にあたっての諸注意、貸室ご利用中の災害発生時の避難について説明や「特別避難場所」についてご理解をいただく。</p> <p>(内容) 団体の自己紹介を行うと共に、ケアプラザの機能について、特定避難場所について、そよ風フェスタについての周知、その他ケアプラザへのご意見を伺った。</p> | 9月 全1回 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|----------|--|----------------|
| 夏休みラジオ体操 | <p>(目的) 子どもたちに長期休みの生活を規則正しく送ってもらうことをめざし、同時に地域ケアプラザの存在、所在を知ってもらう。また大人に対しても子や孫との参加を呼びかけ、多世代交流を促す。</p> <p>(内容) 幼稚園や学校の夏休み期間、参加カードと参加賞を用意し、ラジオ体操第1・2を実施した。</p> | 7月末～8月末 42回 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|------------|---|--------------|
| ジュニアフレンド事業 | <p>(目的) ・障害児に新たに出会いの場、生活経験を拡大できる場、充実したひと時を過ごせる活動の場を提供する。 ・家族のレスパイトを図る。 ・障害に理解のある地域や学生のボランティア育成を図る。</p> <p>(内容) ・ジュニアフレンド実行委員会との共催事業。 ・泉区在住、在学の障害児を募集し、余暇プログラムを実施した。</p> | 7月・3月 全2回 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|---------|---|------------|
| そよ風フェスタ | <p>(目的) いずみ中央地域ケアプラザが地域の福祉拠点であり、すべての世代の方に来ていただける場所であることを周知し、地域で福祉に関わる団体の活動を地域に知っていただく。</p> <p>(内容) 貸室団体や地域の団体による展示・発表、町内会・作業所などによる出店。エリア内の小中学生による展示や発表。</p> | 12月 全1回 |

平成29年度 自主事業報告書

横浜市いずみ中央地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|----------------|---|-----------|
| ボランティア感謝と交流の集い | <p>(目的) ケアプラザの施設ボランティアに対し、日頃の活動に感謝の意を示すと同時に新たなボランティア活動の紹介など今後の交流につなげる。</p> <p>(内容) 第1部は今後のボランティア活動において有益となる、スキルアップ講座を実施。第2部は交流会として自身の活動紹介や貸室団体有志によるパフォーマンスを披露していただいた。</p> | 2月 全1回 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|--------|--|-----------|
| 親子でお茶会 | <p>(目的) 重心児とその保護者のための活動の場を提供する。重心児とその保護者の行き場の拡大を目指す。</p> <p>(内容) 音楽鑑賞、おやつ作り、ヨーヨー釣り、遊具遊びなどを実施。(後援として、ヨーヨー作成等開催のサポートを行う)</p> | 8月 全1回 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|---------|---|-------------------------------|
| ふれあつて菜園 | <p>(目的) 地域住民に土いじりを題材にした外出機会を提供し、四季を感じ自然と関わっていただきながら仲間作りの促進や閉じこもりを予防する。</p> <p>(内容) 季節に合った野菜の栽培及び収穫をしていただいた。</p> | 年末年始(12/29～1/3)のぞく毎日 全359回 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|-------------------|--|---------------|
| いずみ中央 ジュニアカレッジ | <p>(目的) 小学生を対象に、夏休みの自由研究等において有益な講座を行い夏休みを有意義に過ごしてもらい、その保護者に対してケアプラザが、青少年の健全な育成の場としての機能を持っていることを周知する。また、地域のボランティアの方等を講師に迎えることで多世代交流の場の提供を目指す。</p> <p>(内容) カップケーキ作り、科学実験教室や将棋等の講座を行った。</p> | 7月末～8月末 7回 |

平成29年度 自主事業報告書

横浜市いずみ中央地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|-------|---|----------------------------|
| まほろば会 | (目的) ケアプラザ自主事業「茶ろいずみ」で大人気のプログラムである麻雀に参加したいがルールがわからないという方が多く、そういった方への支援として麻雀を学べる場を提供する。 (内容) 麻雀初心者の方の為の麻雀教室を開催した。 | 毎月第2水曜 (12月を除く) 全11回 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|---------|---|---------------|
| サマースクール | (目的) 地域の子供達が福祉の仕事をするきっかけとする。 (内容) デイサービスにてボランティア活動を体験してもらった。 | 7月末～8月末 6回 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|----------------------------|---|-----------|
| クリスマス アレンジメント フラワー教室 | (目的) 冬休みの小学生を対象に貸室団体の方に講師となっただき講座を行うことで、多世代交流の場を提供する。 (内容) アレンジメント教室を開催した。 | 12月 1回 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|--------|--|-----------|
| 環境絵日記展 | (目的) 小学生とその保護者などに地域ケアプラザを知ってもらうきっかけとする。また、環境問題に関心を持ってもらうきっかけとする。市や関連団体、企業等との連携した事業を行うことで、地域の活性化を図る。 (内容) 環境絵日記展に出展された絵のデータを印刷し、館内に掲示した。 | 3月19日～31日 |

平成29年度 自主事業報告書

横浜市いずみ中央地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|-------------------|---|---|
| 男性のためのアクティブLife講座 | <p>(目的) シニア男性の社会参加できる場を創設し、介護予防及び認知症予防となる取組みを行い健康寿命を延ばす。</p> <p>(内容) ウォーキング、認知症サポーター養成講座、料理、社会科見学を実施した。</p> | <p>7月・9月・10月・11月 1月・2月・3月</p> <p>合計7回</p> |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-----------------|--|-------------------|
| Change The Life | <p>(目的) ・若い世代に向けて実施するロコモティブシンドローム予防講座。 ・日ごろから運動を習慣づけ自身の健康増進に務める子と</p> <p>(内容) ・健康、食事に関する講話 ・筋トレやエクササイズに関する実践(目的) ・ロコモティブシンドローム予防や若いうちからの介護予防を目的とし、体を動かすことを習慣化させるため自主化した。</p> | <p>5月 全4回</p> |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|------------------------|--|-------------------|
| よこはまシニアボランティアポイント登録研修会 | <p>(目的) ボランティア活動をすでにやっている、またはボランティア活動に興味がある方を対象に研修を行いボランティアに関する見識を深めてもらう。登録研修が気軽に受けられるように研修をケアプラザ内で開催することで地域の方に気軽に参加いただいた。</p> <p>(内容) テキストに基づきケアプラザのコーディネーターが講師として実施した。普段のケアプラザの活動の話も盛り込んだ。</p> | <p>6月 全1回</p> |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|----------------|---|---------------------|
| 発達障害と子どもたち2017 | <p>(目的) 発達障害を抱えるお子さんとのコミュニケーションについて学び、子どもたちやその家族を地域で緩やかに見守ることにつなげることができた。 包括支援センターが福祉総合相談窓口として高齢者以外の相談窓口であることの周知を行った。</p> <p>(内容) 横浜市社会福祉協議会 障害者支援センターより講師を招き、発達障害を持つお子さんとのコミュニケーション方法についてや支援のあり方について学んだ。</p> | <p>全1回 7月実施</p> |